

建築研究所の最近の研究活動等について報告しました。

～建築研究所 第20回 専門紙記者懇談会の開催～

令和4年11月24日に、建築研究所 第20回 専門紙記者懇談会を開催いたしました。建築研究所では、活動状況を広く知っていただくための取組みの一つとして、平成20年度から住宅・建築・都市に係る専門紙の記者の方々をお招きし、最近の研究活動等について紹介しています。

今回の報告事項は、下記の通りとなっており、弊所ホームページに資料を掲載いたしましたので、ご覧ください。

記

(報告事項)

1. 木造建築物の中高層化等技術に関する研究開発
2. 設計用気象データ作成ツール「ArcClimate」
3. 建築物を長く使い続けるための技術
～既存RC造共同住宅における躯体改造技術～
4. 塩害環境に30年暴露した鉄筋コンクリート造構造物等の耐久性調査
－長寿命化のための技術の検証－
5. 洪水被害調査に基づく洪水時に木造住宅に作用する流体力に関する考察
6. 都市・建築の水害リスク対策に関する研究成果について
7. 地震火災における避難限界期を考慮した避難対策の提案
～市街地火災による逃げ遅れゼロを目指した避難体制の考え方～
8. 国際地震工学研修の成果事例
～途上国における地震・津波防災に関する研究成果～
9. 建築工事と耐久性評価を可能とする接触・微破壊式ドローンによる技術基盤開発

(資料掲載箇所 URL)

<https://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/press/2022/index.html>

以上

(問合せ先)

国立研究開発法人建築研究所
所属 総務部総務課
氏名 岡野 雄司
電話 029-879-0605 (直通)
E-mail okano@kenken.go.jp